

近代的・資源管理型の水産対策＜水産業の競争力・体質強化を支える基盤づくり＞

背景

- 漁業所得の低迷
- 漁業就業者の高齢化
- 低水準の水産資源

対策内容

- 輸出促進と資源回復のための基盤整備を加速化

効果

- 水産物輸出の拡大と資源回復の達成
- 水産業の競争力・体質強化

燃油の高騰等により漁業所得は低迷し、漁業経営は依然として厳しい状況。

漁業用A重油の価格の推移



資料：農林水産省「漁業経営調査報告」

沿岸漁船漁家の所得率と漁労支出に占める燃油の割合



資料：農林水産省「漁業経営調査報告」

漁業就業者数は平成21年で約21万人。平均年齢は56.2歳(平成20年)。

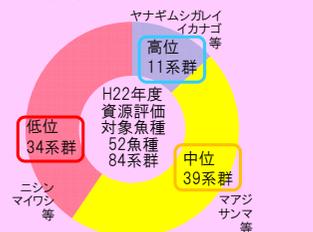
漁業就業者の推移



資料：農林水産省「漁業センサス」、「漁業就業動向調査」(H21年)

我が国周辺の水産資源の資源水準は、4割が低位水準。

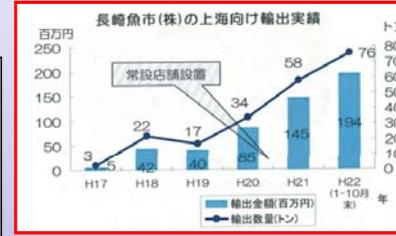
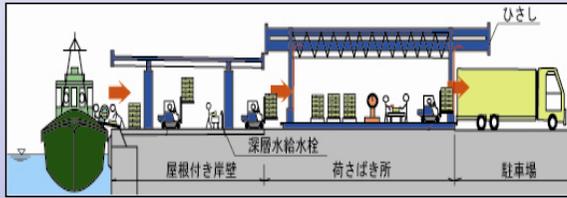
我が国周辺の資源水準の状況(平成22年)



資料：水産庁(独)水産総合研究センター「我が国周辺水域の水産資源評価」等
注：資源水準分類の定義
過去20年以上にわたる資源量(漁獲量)の推移から、「高位・中位・低位」の3段階で区分

輸出促進の取組と連携した流通拠点漁港整備

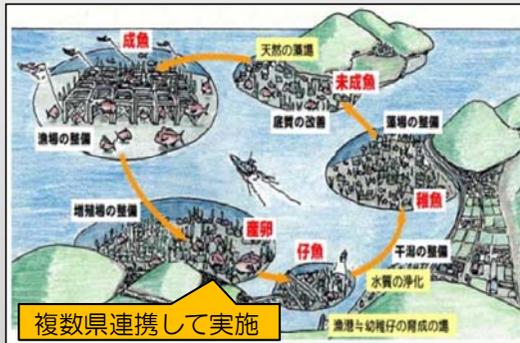
＜高度衛生管理型荷捌き所(イメージ)＞



【長崎地区(特定第3種漁港)】

高度衛生管理を可能とする荷捌き所、岸壁等の整備を加速することにより、中国・東アジア向け輸出戦略の促進を目指す。

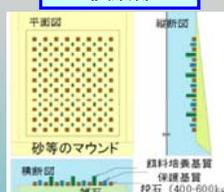
複数県連携による広域的漁場整備



【播磨灘海域】

兵庫県、岡山県、香川県にまたがる播磨灘海域において、成長に伴い当該海域を広く回遊するマコガレイの生活史の特徴に応じた整備を3県で連携して行うことによって、効率的かつ早急な資源の回復を図る。

西播磨地区(兵庫県)



覆砂による海底地盤の嵩上げ及び餌料培養基質の設置によって稚魚が低酸素水域から避難、滞留する場を造成

中西部播磨灘地区(兵庫県)



起伏に乏しく海底地形が平坦な海域に石材等を設置し、天然瀬に近い増殖場を造成

東備地区(岡山県)



溜堤及び消波堤の設置による特種域の確保とともに、着定基質の設置、底質改善によって、アマモ場を造成

播磨灘小豆地区(香川県)



着定基質の設置によって、ガラモ場を造成

＜基盤整備の加速化＞

- 施設の早期供用開始
- 事業完了予定の前倒し

＜事業効果の早期発現＞

- 高度衛生管理による輸出促進(対象地区の輸出を拡大)
- 広域的な海域での資源回復(対象資源の漁獲量の増大)

＜水産業の再生の実現＞

日本再生のための戦略に向けて(H23.8.5閣議決定)

【戦略5】水産業再生

近代的・資源管理型で魅力的な水産業を構築する。
(4) 安全な水産物の安定的な供給に向けた水産流通・加工業の取組を支援するとともに、6次産業化や品質・衛生管理の向上、水産物の生産・流通の拠点となる、漁港の流通・加工機能の強化等を推進する。